

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成22年秋号 VOL. 17



写真：やぶの刈払いにより見通しの良くなった森林
(大田原市雲岩寺)

— 明るく安全な里山林整備事業（獣害軽減） —



特集 平成21年度とちぎの元気な森づくり県民税事業
の実績と評価結果(概要)をお知らせします

森のなかまたち 第6回 森のグライダー モモンガ



モモンガは、前脚・後脚の間にある皮膜を広げて滑空することができるリスの仲間です。夜行性であるため、自然の中で見られることは少ない動物です。樹洞などに住み、食性は主に木の葉・芽、果実、種子などの植物食です。目が大きくかわいらしい動物で、ホンドリスとほぼ同じ大きさ（頭胴長約18cm）です。

スギやヒノキの林と広葉樹林がモザイク状になっている区域に多く生息しているとの報告があります。そのような森林をつくり育てるとともに、豊かな自然を守っていかねば、やがて本当に見ることができなくなってしまうます。

平成21年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績と評価結果（概要）をお知らせします

1 とちぎの元気な森づくり 奥山林整備事業

整備面積 間伐 2,663ha
 獣害対策 357ha
 決算額 6億5,298万円
 (うち国庫補助1億6,827万円)

手入れが行き届いていないスギ・ヒノキの人工林で間伐を行いました。クマやシカなどの獣害から樹木を守るための対策を行いました。

【整備例(大田原市黒羽)】



間伐を実施した結果、陽光が地表まで差し込むようになりました。

2 明るく安全な 里山林整備事業

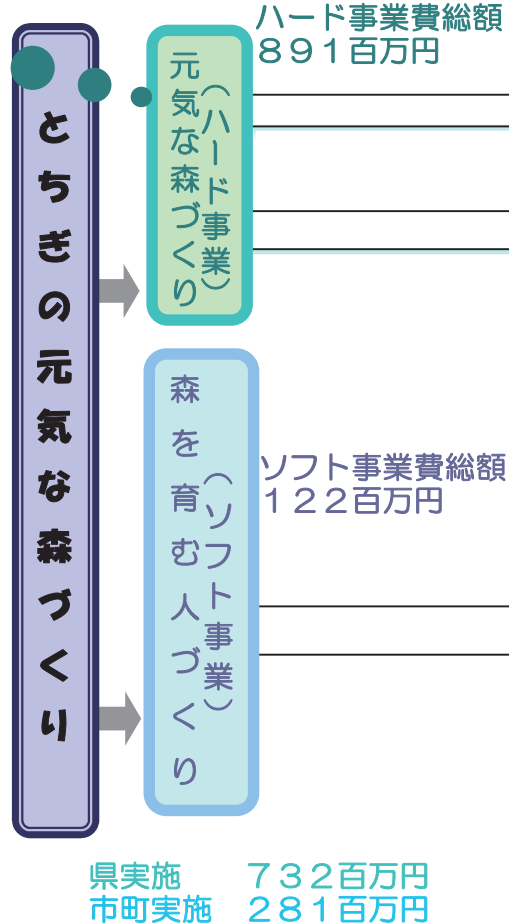
整備面積 700ha (全市町142箇所)
 決算額 2億3,793万円

身近な里山林を、将来まで守り育てる地域の憩いの場に再生したり、通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保したり、野生獣被害を軽減するために整備しました。

【将来まで守り育てる里山林への整備例(真岡市長田)】



都市部に残された貴重な里山林を、地域の皆さんが中に入って自然とふれあえる森林に整備しました。



平成21年度事業に対する税事業評価委員会の評価

平成21年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。

なお、奥山林整備事業の伐り捨て間伐方式については、各方面からの意見、地形等森林の循環利用を可能にする条件、森林・林業再生プランの達成に向けて搬出間伐への転換等を掲げた国の施策動向など森林・林業を取り巻く状況の変化等を踏まえ、今後見直しを行うこと。

◆とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業について

- 所有者による将来の自発的な森林管理等を見据え、間伐材の利用促進や作業路などの整備についてさらに検討を進めること。
- 獣害対策について、今後、効率性の観点から事業内容を見直すことにより、より多くの面積での対策が可能となるよう検討を行うこと。

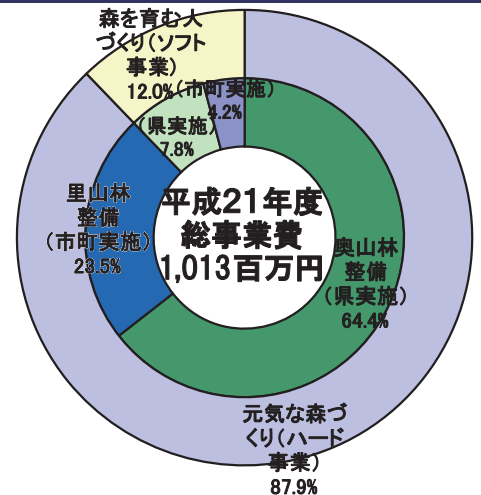
◆元気な森を育む木の良さ普及啓発事業及び森林環境学習推進事業について

- 木製学習用机・いすの配布や森林環境学習資料の活用にあたっては、配布の趣旨を児童・生徒に説明することなどにより、森林の大切さや森づくりの必要性などに対する理解を一層深められるよう、県や市町の教育委員会と十分連携を図ること。

◆とちぎの元気な森づくり県民広報事業について

- 里山林整備箇所への看板の設置などについて、税事業で実施していることの表記をより目立つよう工夫し、税に対する県民の理解促進に努めること。

平成21年度総事業費の割合



※ 評価報告書全文等詳しくは、「とちぎの森づくり」ホームページでご覧いただけます。
 ▶▶ <http://mori.ecomori-tochigi.jp/>

とちぎの森づくり

検索

1 とちぎの元気な森づくり
奥山林整備事業

県が実施

2 明るく安全な里山林整備
事業

市や町が実施

3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業
4 とちぎ森づくり情報センター事業
5 とちぎ森の楽校（がっこう）事業
6 森林環境学習推進事業
7 とちぎの元気な森づくり県民会議事業
8 とちぎの元気な森づくり県民税事業
評価委員会事業
9 とちぎの元気な森づくり県民広報事業

県が実施

10 みんなの元気な森づくり支援事業
11 森林環境学習支援事業
12 木の香る環境づくり支援事業
13 特色ある緑豊かな地域推進事業

市や町が実施

10 みんなの元気な
森づくり支援事業

決算額 627万円

市や町が行う、住民やボランティアを対象とした森づくり活動などを支援しました。
（16市町24団体）

11 森林環境学習
支援事業

決算額 451万円

子どもたちを対象とした地域での自然観察会や森づくり体験活動などを支援しました。
（12市町26活動）

12 木の香る環境づくり
支援事業

決算額 2,769万円

公共オープンスペースでの木材利用（3市町）、公共施設等の木造・木質化（1町）、里山林整備により発生した間伐材の有効利用促進（8市町）、地域における木の良さ普及啓発等（10市町）を支援しました。

13 特色ある緑豊かな
地域推進事業

決算額 485万円

広域的な森づくり活動など、地域の創意工夫をこらした特色ある取組を支援しました。
（5市町6取組）

3 元気な森を育む
木の良さ普及啓発事業

決算額 4,754万円



大田原市立黒羽中学校

奥山林整備事業で発生した間伐材を活用した学習用机・いす2,000セットを13市町・31校の小中学校に配布しました。



4 とちぎ森づくり
情報センター事業

決算額 789万円

「とちぎの森づくり」ホームページの運営や、森林ボランティア会員などへの情報提供、森づくり活動のための貸出機材の整備、森づくりグループ交流会の開催などを行いました。

5 とちぎ森の楽校
（がっこう）事業

決算額 550万円

森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図る体験講座13講座（16回）を開催しました。

初心者向け講座（宇都宮市）



6 森林環境学習推進事業

決算額 446万円

23団体の森林環境学習に助成を行い、指導者研修、緑の少年団交流活動「とちぎ森の子サミット」を開催しました。

7 とちぎの元気な森づくり
県民会議事業

決算額 583万円



元気な森づくりの日記念
森づくり体験活動（宇都宮市）

“とちぎの元気な森づくり”の推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」において、元気な森づくりの日（10月16日）記念行事、子どもたちの木工工作コンクール、下流域都県民の参加・協力による森づくりなどの活動を実施しました。

8 とちぎの元気な森づくり県民
税事業評価委員会事業

決算額 53万円

委員会を4回（うち現地調査1回）開催し、平成20年度事業の評価を行うとともに、平成21年度事業の評価を行うための手法等を決定しました。

9 とちぎの元気な森づくり
県民広報事業

決算額 736万円

パンフレットの作成・配布、テレビ・ラジオでの広報、新聞広告、税事業実施箇所を県民の皆さんにご覧いただくバスツアーなどを実施しました。

まなびや
木の香る学舎でぬくもりを感じて
～芳賀町立芳賀中学校における県産材利用の取組み～

現地レポート第5回となる今回は、とちぎの元気な森づくり県民税による事業（木の香る環境づくり支援事業）を活用した、芳賀町立芳賀中学校の特別教室棟（技術室、被服室、調理室、音楽室）の内装の木質化について紹介します。

芳賀中学校は町内で唯一の中学校で、約450名の生徒が通学しています。教室そのものを教材として活用するため、特別教室棟新築にあわせて木質化を実施しました。生徒たちが木のぬくもりを肌で感じながら日常生活を送ることで、自然環境への理解や関心を深めることができるよう、延べ420.8㎡の壁や床を木質化しました。

今年7月末に完成したばかりの教室には、県産材のひのきからやさしい香りが漂い、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われています。特に、音楽室は天井も高く、開放感あふれる空間の中、吹奏楽やマーチングバンドの練習に利用されています。

芳賀中学校には、学習林「憩いの森」(3,600㎡)もあり、日々の学習に活用されています。こうした恵まれた学習環境の中で、自然と共生することを学び環境問題を正しく理解した生徒が、芳賀町の将来を担う人材となり巣立っていくことを願います。



技術室

新しい音楽室はとても天井が高く、たくさんの木材が使われており、温かさを感じながら授業や部活動に、さらに熱心に取り組むことができます。

音楽室内はどこを見ても木材が目にとまり、コンクリートの堅い感じとは違う柔らかな環境をつくりだしています。このようなすばらしい音楽室をありがとうございました。

芳賀中学校3年 小林未来



音楽室

特別教室棟へは、渡り廊下の床に敷き詰められた木のブロックで迎えます。内部の壁も高さ2mまで県産の木材がふんだんに使われています。外からの光がさんさんと入る音楽室は、音響のすばらしさも自慢です。天井も高く、ちょっとしたホールのような感じです。こんな環境で毎日音楽教育ができるのは夢のようです。

芳賀中学校教諭 関本みどり

取材：栃木県県東環境森林事務所

「とちぎの元気な森づくり県民会議 普及・啓発部会」は、“とちぎの元気な森づくり”について、県民の皆さんに関心を持っていただき、森づくりに御参加・御協力をいただけるよう活動しています。

県や市などが進める森づくりの取組を、県民の皆さんにより具体的に紹介していくため、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して整備された森林等の視察を、7月23日（金）に部会として実施しました。



奥山林整備事業（鹿沼市入粟野）

森林には自然に任せる場所もあるし、人間がある程度管理をする必要のある場所もあります。特に、スギ・ヒノキの人工林は、一定の基準で整備・管理する必要があります。

県民税を活用して整備された森林を見ると、明るく健になった感があり心が和みます。将来に向け、誰がどのような基準で森林管理を担うのかということが、今後とも大きな課題であります。

（社）栃木県緑化推進委員会 理事長 荒井憲志



明るく安全な里山林整備事業（獣害対策）
（西方町真名子）

7月23日に明るく安全な里山林整備事業（獣害対策）の視察をしました。西方町真名子の里山林でしたが、下草刈りをする以前の写真と見比べると、かなりの樹木がよく見える状態に整備されていました。

イノシシなどは、下草の生い茂った所に現れるということでした。人里の畑など荒らされる獣害の大変さを改めて認識した視察でした。整備されたのはまだ一部の地域でしたので、この事業の継続が望まれていると感じました。

栃木県生活協同組合連合会 専務理事 鎌柄克美



木の香る環境づくり支援事業
（道の駅にしかた）

県産材をふんだんに利用して整備されたあずまやは、反り上がった屋根が特徴的で存在感があります。普段は休憩所として利用されていますが、広く開放的なスペースは状況に応じていろいろな役割を担ってくれそうです。夏の日差しを避けたり、雨宿りしたり、あるいは冬の陽を浴びながら、丸太のベンチに座って一息つく。木のぬくもりに癒されながら、森と人との関わりに思いを巡らせてもらえば言うことありませんね。

とちぎの元気な森づくり県民会議 公募委員 阿久津隆

元気な森づくり県民会議 部会だより

木づかい推進部会

林業センター公開デーにおいて、 「木工教室」を開催しました！

8月21日（土）に開催された、栃木県林業センター公開デーにおいて、木工教室を実施しました。ミニテーブルのキットを200セット準備し、木工工作を楽しんでいただきました。



「のこぎりを使うのは初めて！」という子どもたちもたくさんいましたが、親子で協力しあいながら製作していました。

ものづくりの楽しさを実感していただくとともに、「木材は環境に優しい材料であり、とちぎの木を使うことが、とちぎの森林を元気にする」ことも学んでいただきました。



10月には、わくわくグランディ科学ランドで開催された「エコ・もりフェア」や、栃木県県民の森で開催された「森の集い」においても、木工教室を実施しました。

普及・啓発部会

とちぎの森づくり交流事業が開催されました ～都市と里山との交流・体験 2010～



8月3日（火）から6日（金）までの4日間、神奈川県内の高校生14名と県立馬頭高校生13名が参加する里山体験を中心とした交流会が、那珂川町及び日本大学のご協力により那珂川町で開催されました。

交流会では、間伐体験や自然観察会、獣害防止のため捕獲されたイノシシを使った地産地消メニューの開発などが行われました。

参加した高校生は、すぐに打ち解け、賑やかにさまざまな里山体験を楽しみました。

やっぱり緑はいい！

ヒノキが倒れたとき地面が揺らいたのが感動した！

都市ではできないことで森林の必要性に気づいた。



森づくりトピックス

とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました！

～出流観光会、(株)カスミ、ふるさととちぎ応援寄附金～



出流観光会大塚会長に感謝状を贈呈



(株)カスミ環境・社会貢献部
大場マネージャーに感謝状を贈呈

去る7月23日、出流観光会から、地元の獣害対策に役立ててもらいたいとの趣旨で、7月9日・10日に開催した「寒晒しそばを楽しむ会」の売り上げの一部を「とちぎの元気な森づくり基金」に寄附していただきました。

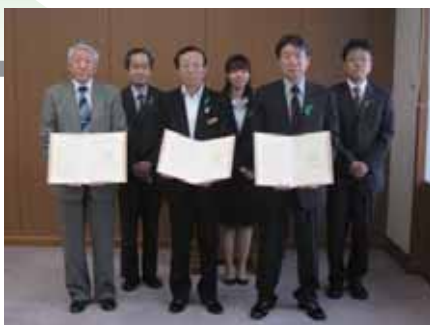
また、(株)カスミからは、平成20年度・21年度に引き続き、レジ袋削減運動として有料化しているレジ袋の代金(県内8店舗・本年1～6月分)をご寄附いただき、9月15日に三浦環境森林部長から知事感謝状を贈呈いたしました。平成20年度までは県内1店舗での取組でしたが、「栃木県におけるレジ袋削減に関する協定」に当初から参加いただき、本年2月以降は県内全店舗に拡大して取組を進めていただいています。

この他、ふるさととちぎ応援寄附金として、3名の方(全て県内在住者)からご寄附をいただきました。

「森づくりに関する協定」を締結しました

～ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株)鹿沼事業所、栃木県ホンダ会～

県は、企業や団体の皆様が社会貢献活動として行う森林整備活動の取組を推進しています。9月3日(金)に新たに2企業(団体)の皆様、関係市町、県とで「森づくりに関する協定」を締結しました。



ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株) 鹿沼事業所
「創造の森」

矢板市の県有地0.48haで植樹活動・下草刈りを平成28年3月31日まで実施します。



栃木県ホンダ会

「栃木県 HondaCars の森」

茂木町の町有地0.28haで植樹活動・下草刈りを平成28年3月31日まで実施します。



元気な森づくり伝言板



★木づかいスタッフをご活用ください★

■木づかいスタッフとは

県民の木づかい活動をサポートする「ボランティア」です。木工工作など「木を使う体験活動」を指導するとともに、木の良さや森づくりの大切さについて、県民に広く伝えます。

■活動の場

- ・小中学校における木工工作学習
- ・市町や自治会、育成会などが実施する地域のイベントや体験講座等で行う木工教室 など

■ご活用にあたって

ホームページをご覧くださいか、県庁林業振興課木材利用推進班までお問い合わせください。
林業振興課木材利用推進班 TEL028-623-3277

http://www.pref.tochigi.lg.jp/work/ringyou/kensanzai/05_staff.html

★森の楽校の参加者を募集しています★

県民の皆さんに気軽に森づくりを体験していただける「森づくり講座」と、森づくりの指導者を養成する「グリーンスタッフ養成講座」を開講しています。

どなたでも参加できますので、ぜひ御参加ください。

■森づくり講座

講座名	開催日	時間	概要	場所	定員	申込締切
森の手入れ (人工林)	12月11日 (土)	10:00~ 14:30	森林や林業のしくみを知り、間伐を体験(ノコギリ)	宇都宮市 森林公園	20人	12月1日

■グリーンスタッフ養成講座

講座名	開催日	時間	概要	場所	定員	申込締切
学校や公園のみどりづくり	11月27日 (土)	10:00~ 15:00	学校や公園のみどりづくりと活用について	宇都宮市 緑の相談所	30人	11月17日
里山のしくみ	12月4日 (土)	10:00~ 15:00	里山のしくみを知り、その手入れ方法を体験	宇都宮大学 船生演習林 (塩谷町)	30人	11月24日
森林と野生獣	1月22日 (土)	10:00~ 15:00	野生獣の生態と獣害の現状を知り、獣害対策を体験	宇都宮大学 船生演習林 (塩谷町)	30人	1月12日

※グリーンスタッフ養成講座を3回以上受講した方は、希望によりグリーンスタッフ(緑化・森づくり活動のリーダー)として(社)栃木県緑化推進委員会に登録することができます。

■申込先 (社)栃木県緑化推進委員会 TEL 028-623-6801

URL <http://www12.ocn.ne.jp/~t-green/>

編集・発行 とちぎの元気な森づくり県民会議 平成22年11月発行

(事務局 宇都宮市埴田 1-1-20 栃木県環境森林部内 TEL 028-623-3297)

「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。